

事務事業及び予算の執行実績

(令和6年度分「一部、令和7年度分を含む」)

静岡県立ふじのくに中学校

目 次

1	事務事業の概要	1
2	事務執行の根拠法令調	24
3	学校施設の概要	25
4	在籍生徒調	27
5	入学志願者及び入学者数調（夜間中学用）	28
6	生徒の状況	29
7	歳入予算執行状況調	31
8	預 金 調	33
9	郵券等受払調	34
10	歳入歳出外現金調	35
11	歳出予算執行状況調	36
12	委託料等歳出予算執行状況節別集計表	40
13	委託料に関する調	42
14	負担金支出調	43
15	借地借家等調	44
16	主要備品調	45
17	職員調	46
18	職員の年齢調	49
19	健康管理	50

□□□□

事務事業の概要

1 概況

(1) 学校の沿革

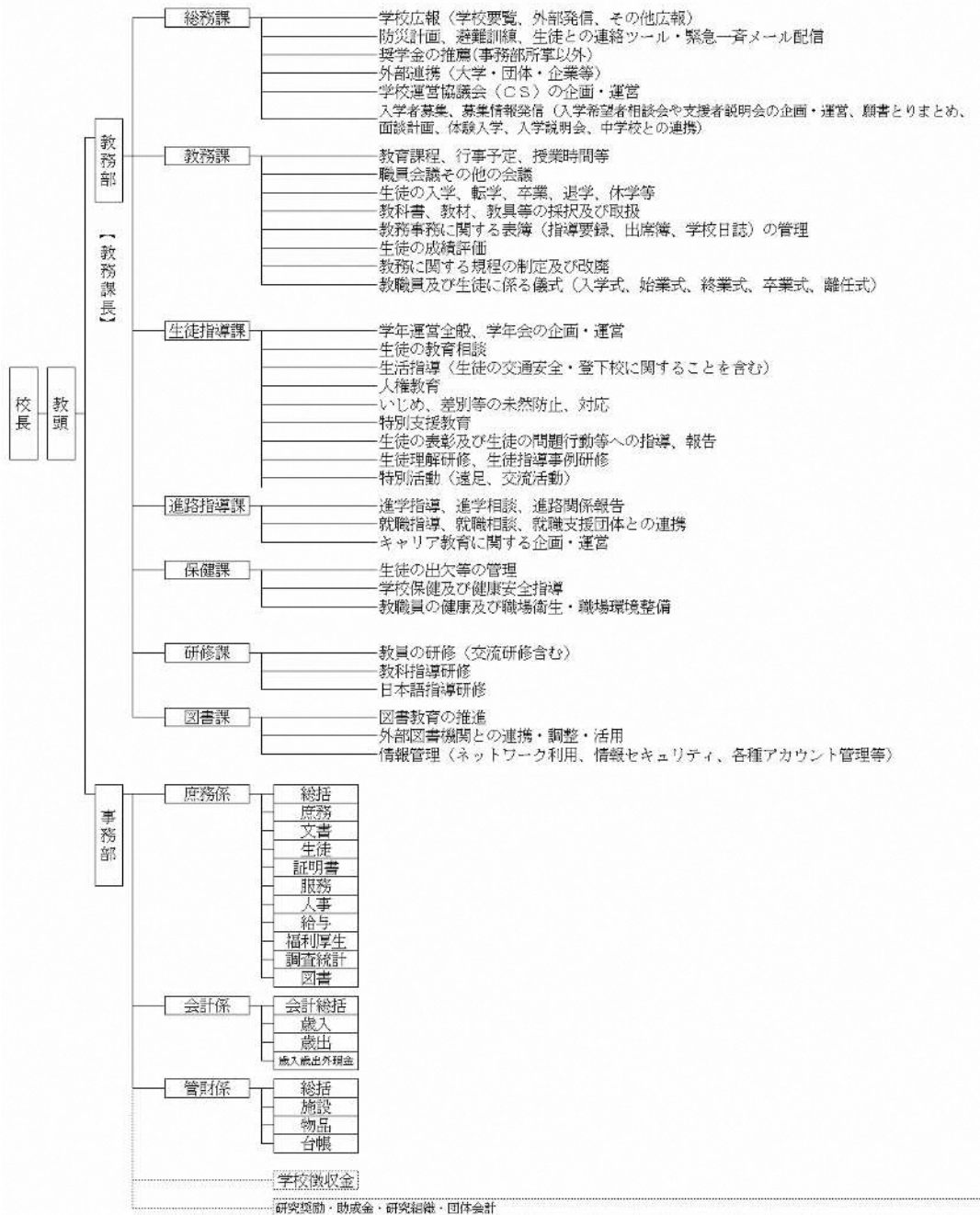
令和5年4月1日 開校

- ・磐田本校は、磐田市「天平のまち」施設内に設置。
- ・三島教室は、三島長陵高等学校内に設置。

令和5年4月7日 磐田本校にて開校式を挙行。

令和6年4月1日 静岡県財務規則の改正によりかいとなる。

(2) 組織図
校務分掌表



<会議・委員会等> ◎は、三島・磐田合同で行う会議等
 ※各会議・委員会等の構成員は以下を基本に各教場の実情を踏まえて教場別運営委員会で検討
 ◎校長・教頭会(校長、教頭)
 ◎合同職員会議(校長、教頭、本務教員、養護教員、事務職員)
 ・教場別職員会議(管理職(警:校長、三:教頭)、○教務課長、本務職員、養護教諭、事務職員)
 ・教場別運営委員会(管理職(警:校長、三:教頭)、○教務課長、生徒指導課長、研修課長、事務職員)
 ・特別支援委員会(磐田:就学支援委員会)(管理職(警:校長、三:教頭)、○生徒指導課長、養護教諭、教務課長)
 ・生徒を語る会(磐田:生徒指導事例研修会)(管理職(警:校長、三:教頭)、○生徒指導課長、本務職員、SC、SSW)
 ※いじめ防止対策委員会を兼ねる
 ・生き方支援委員会【磐田のみ】(校長、○進路指導課長、本務職員、SC、SSW)
 ・防災管理委員会(管理職(警:校長、三:教頭)、○総務課長、事務職員)
 ・学校保健委員会(管理職(警:校長、三:教頭)、○保健主事、養護教員、各学年主任、事務職員)
 ・学校職員衛生委員会(管理職、○衛生管理者(養護教員)、健康管理医)
 ・校内コンプライアンス委員会(○管理職(警:校長、三:教頭)、教務課長、総務課長、事務職員)
 ・進路指導委員会(管理職(警:校長、三:教頭)、○進路指導主事、学級担任)
 ・調査書等作成委員会(管理職(警:校長、三:教頭)、○進路指導主事、学級担任)
 ・修卒認定委員会(管理職(警:校長、三:教頭)、○教務課長、進路指導主事、学級担任)

2 目指す学校像

学校教育目標：「学ぶ喜び」の実感

(1) 学校教育目標設定の理由

ふじのくに中学校に入学する生徒は、様々な理由により義務教育段階の学びを十分に受けることができなかつた人たちである。一人ひとりの生徒が様々な背景を抱えながらも、「学びたい、学び直したい」という思いを持ち、本人の中で大きな決断をして「入学」という一歩を踏み出している。

そのような生徒が、学校生活を通して「学ぶ喜び」を実感し、「ふじのくに中学校で学んでよかった」と感じることができれば、自分の夢や目標の実現に向けて、更なる一歩を自ら踏み出していくであろう。

生徒の「学びたい、学び直したい」という思いや、生徒が自ら踏み出した「入学」という大きな一歩を全力で支えるために、「学ぶ喜び」の実感を学校教育目標とした。

(2) ふじのくに中学校で目指す「学ぶ喜び」の具体像

ふじのくに中学校で目指す「学ぶ喜び」の具体像は次のとおりである。

ア 自分の目標に向かって学ぶ喜び

イ 各教科等における「主体的・対話的で深い学び」による学習をとおして、必要な資質・能力を身に付ける喜び

ウ 他の生徒と協力しながら自らの学校生活を充実させる喜び

エ 地域の人・もの・こととの交流を通して、自らの人間関係を広げる喜び

(3) 目指す生徒像

ア 自分の夢や目標達成のために、新たな挑戦や継続した努力のできる生徒

イ 相手の状況や気持ちを把握することに努め、他者に対して優しさや思いやりを持つことができる生徒

ウ 学校への愛着を持ち、よりよい学校にするために、自ら考え、行動する生徒

(4) 目指す教師像

ア 各教科等の授業を通して「学ぶ喜び」を実感させることができる教師

イ 一人ひとりの生徒を様々な角度や視点から捉え、認め、伸ばす教師

ウ 生徒が自分の夢や目標の実現に向けて自ら考え、行動することができるように支援する教師

3 監査対象期間の年度別学校経営の取組等

(1) 令和6年度の取組目標への評価及び成果と課題

<磐田本校>

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
ア	多様な生徒のニーズに応える学習指導体制を	○「授業が楽しい」と答える生徒(80%) ○「授業の内容	学校評価における左記項目における生徒の肯定的な回	A	3項目において高評価であった。 年度当初は、生徒の実態や希望に沿っ

	<p>整え、一人一人にあった学びを提供する。</p>	<p>がよくわかる」と答える生徒（80%）</p> <p>○「自分に合った授業を選択して学習できている」と答える生徒（80%）</p>	<p>答の割合は</p> <p>○ 100%</p> <p>○ 100%</p> <p>○92.9%</p>		<p>て授業コースを変更する教育課程ではなかったが、年度途中よりその変更を教育課程に位置付けることとし、次年度も継続する予定である。</p>
イ	<p>他者に対する優しさや思いやりを大切にすることを養い、良好な人間関係を構築するためのコミュニケーション力を育成する。</p>	<p>○「元気なあいさつができる」と答える生徒（80%）</p> <p>○「級友や先生と話すことは楽しい」と答える生徒（80%）</p> <p>○「人の役に立つ人間になりたいと思う」と答える生徒（80%）</p>	<p>学校評価における左記項目における生徒の肯定的な回答の割合は</p> <p>○92.9%</p> <p>○ 100%</p> <p>○ 100%</p>	A	<p>3項目において高評価であった。</p> <p>学活や道徳等における人間関係づくりにアプローチしたことや、生徒同士の関わりを増やす取り組みを教育課程全体において配置してきたことが結果にあらわれていると考えられる。次年度も継続した取り組みを適切に配したい。</p>
ウ	<p>自律した生徒の育成を目指すとともに、よりよい進路実現に向けたキャリア教育や支援体制を構築する。</p>	<p>○「夢や目標がある」と答える生徒（80%）</p> <p>○「決めたことは難しいことでも挑戦している」と答える生徒（80%）</p>	<p>学校評価における左記項目における生徒の肯定的な回答の割合は</p> <p>○85.7%</p> <p>○92.9%</p>	A	<p>2項目において高評価であった。</p> <p>キャリア教育の視点から将来を見通した教育活動の推進が結果にあらわれていると考えられる。次年度も継続した取り組みを教育課程において適切に配したい。</p>
エ	<p>生徒一人一人の良さを認め、生徒一人一人に寄り添った</p>	<p>○「よいところがある」と答える生徒（80%）</p> <p>○「応援してく</p>	<p>学校評価における左記項目における生徒の肯定的な回答の割合は</p>	A	<p>3項目において高評価であった。</p> <p>自己肯定感の向上を掲げ、生徒一人一人の良さを認める活</p>

	教育相談体制の充実を図る。	れる人がいる」と答える生徒（80%） ○「相談する人がいる」と答える生徒（80%）	○92.9% ○100% ○92.9%		動を随所に取り入れるだけでなく、SCやSSWを含めた全教員による相談体制を、次年度も継続したい。
オ	校内の危機管理体制を整備するとともに、危機管理意識を向上させる。	○「学校で安心・安全に過ごすことができる」と答える生徒（80%）	学校評価における左記項目における生徒の肯定的な回答の割合は ○100%	A	高評価であった。 危機管理マニュアル等の定期的な見直しだけでなく、複数回の避難訓練等の活動を通して培うことができた。
カ	地域住民、保護者との連携を推進し、信頼される学校づくりを行う。	○「地域の行事や活動に参加したい」と答える生徒（60%）	学校評価における左記項目における生徒の肯定的な回答の割合は ○71.4%	A	高評価であった。 保護者との定期的な連絡や面談を実施するだけでなく、地域や支援団体とのつながりを継続的に増やしていきたい。
キ	研修を通じて教職員の資質向上を図るとともに、教職員の働き方改革を推進する。	○「生徒が学ぶ喜びを実感できるように授業づくりを工夫した」と答える教員（80%） ○「心身の健康増進に努めることができた」と答える教職員（80%）	学校評価における左記項目における生徒の肯定的な回答の割合は ○100% ○83.3%	A	2項目において高評価であった。 授業に焦点を当てた校内研修を定期的に行い、また業務の精選や次年度への引継ぎを見据えた体制作りを全職員で行っている。
ク	本校の存在や特色ある教育活動を広く周知し、入学希	○「安心して入学できた」と答える入学者（80%）	学校評価における左記項目における生徒の肯定的な回答の割合は	A	高評価であった。 「支援や配慮は入学前の方が大切である」をスローガンに、入学希望者が安

	望者の入学までの支援体制の充実を図る。		○91.7%		心して4月からの教育活動に参加できるよう、見学や体験、説明会、個別面談等を計画的に行った。
--	---------------------	--	--------	--	---

<三島教室>

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
ア	多様な生徒に対する学習指導体制を整え、基礎学力の向上を図る。	○「自分の選んだコースの授業は自分に合っていた」、「授業の内容はよくわかった」、「授業中にいろいろな先生がいてくれてよかったと思うことが多い」と答える生徒90%以上	○いずれも肯定回答100%。うち、最上位回答は「自分の選んだコースの授業は自分に合っていた」46%、「授業の内容はよくわかった」64%、「授業中にいろいろな先生がいてくれてよかったと思うことが多い」64%	A	生徒の力に合わせたカリキュラムが成果を挙げていると考える。次年度より3学年が初めてそろった学校運営となる。生徒の実態とニーズに合わせた教育の提供についてアップデートしていく必要がある。
イ	他者をいたわり、人間関係を大事にする心を養い、問題行動の未然防止を図る。	○「仲間の気持ちを考えて思いやりをもって関わられた」 ○「みんなで居心地のよいクラスづくりをしている」と答える生徒90%以上	○「仲間の気持ちを考えて思いやりをもって関わられた」91% ○「みんなで居心地のよいクラスづくりをしている」100%。うち、最上位回答72.7%	B	生活環境における悩みや学校内外での人間関係の行き違いからトラブルになり指導を行ったこともあったが、相手を思いやる気持ちを再確認する機会ともなった。より多様化する生徒の実態に合わせより良い学校の雰囲気づくりをしていく。

ウ	<p>生徒一人ひとりに寄り添い、よりよい進路を見つけ、その実現を図る。</p>	<p>○「ふじのくにタイムや面談をきっかけに、自分の将来について考えるようになった」と答える生徒90%以上</p> <p>○三島長陵高校の授業見学を実施</p>	<p>○いずれも肯定回答100%。うち、最上位回答は「自分の夢や目標に向かって挑戦や努力ができた」73%、「ふじのくにタイムや面談をきっかけに、自分の将来について考えるようになった」55%</p> <p>○長陵高校Ⅱ・Ⅲ部の授業見学を9月に実施</p>	A	<p>進学を希望する生徒は、長陵高校の見学をきっかけに自分の進路について具体的に思い描くことができた様子だった。不登校傾向の生徒への支援をはじめとする、キャリア教育の充実を図っていく。</p>
エ	<p>自己健康管理ができる生徒を育成するとともに、教育相談体制の充実を図る。</p>	<p>○「病気やけがに気をつけている」「先生は相談にのってくれる」と答える生徒90%以上</p> <p>○年間に2回の保健相談を実施</p> <p>○健康講座を実施</p>	<p>○「病気やけがに気をつけている」91%</p> <p>○「先生は相談にのってくれる」100%、うち最上位回答64%</p> <p>○4・5・7・10・12・2月に二者または三者面談及び5・12月に保健相談を実施</p>	B	<p>養護教諭による健康講座や健康相談、複数担任制による面談や日ごろからの細やかな声掛けで、生徒は安心感をもって生活することができた様子であった。体調不良や就業による疲労を訴える生徒は継続して見られるので、丁寧な支援を継続する。</p>

			○10月に健康講座、11月に薬学講座を実施		
オ	校内の危機管理体制を整備するとともに、危機管理意識を向上させる。	○「防災訓練に真剣に取り組んだ」と答える生徒90%以上 ○年間に2回の防災訓練と1回の防犯訓練を実施	○「防災訓練に真剣に取り組んだ」100%、うち最上位回答64% ○4月に火災、9月に地震を想定した防災訓練及び1月に防犯訓練を実施	A	防災訓練・防犯訓練を計画・実施した。昨年度の生徒の実態から、今年度は外部講師を招くことはしていない。イメージを明確にしながら訓練ができるよう、次年度は外部講師の招聘も視野に入れつつ計画したい。
カ	地域、保護者との連携を推進し、信頼される学校づくりを行う。	○「先生は家族や地域の方に丁寧に対応している」、「ホームページは学校生活の様子がわかりやすい」と答える生徒90%以上 ○1か月あたり複数回のホームページ更新	○いずれも肯定回答100%。うち、最上位回答は「ホームページは学校生活の様子がわかりやすい」73%、「先生は家族や地域の方に丁寧に対応している」64% ○各教職員が月に1回ずつホームページを更新し、1か月あたり平均5回の更新	A	保護者を交えた三者面談の実施や、ホームページを活用した広報活動に取り組んだ。次年度よりコミュニティスクールも始動予定である。関係各所のハブとしての運営も推進していく。

			を行った。		
キ	研修を通じて教職員の資質向上を図るとともに、教職員の働き方改革を推進する。	○月1回の校内研修と生徒を語る会、全本務職員で県外視察を実施。 また非常勤職員を含めた研修を実施 ○21:00にPCの電源を切り、生徒の様子を共有する。21:15には全員で退庁	○定例の校内研修と生徒を語る会を実施。11月に相模原市立大野南中学校分校を本務職員全員で視察。 8月・12月に非常勤職員を含めた教科指導・生徒理解研修を実施 ○21:15には全職員そろってほぼ毎日退庁できた。	B	校内での研修活動については様々なテーマで実施ができていると考える。一方で、非常勤職員の多さからより丁寧な情報共有、指導方法の検討が求められる。次年度は、特に年度当初の生徒理解研修や授業観の共有に力を入れる。

(2) 令和7年度 of 取組目標・達成方法・成果目標

<磐田本校>

	取組目標	達成方法	成果目標	担当部署
ア	多様な生徒のニーズに応える学習指導体制を整え、一人一人にあった学びを提供する。	○生徒一人一人のニーズや学習歴を把握した上で授業を行う。 ○生徒一人一人に合った学習コースや学習支援を行う体制を整える。 ○生徒の「できた・わかった」を大切に授業改善を行う。	○「授業が楽しい」と答える生徒(80%) ○「自分に合った授業を選択して学習できている」と答える生徒(80%) ○「学びを通して成長している」と答える生徒(80%)	研修課
イ	他者に対する優しさや思い	○人間関係づくりプログラムを活	○全学級で、新人間関係づく	生徒指導課

	やりを大切に する心を養 い、良好な人 間関係を構築 するためのコ ミュニケーシ ョン力を育成 する。	用した教育実践 を行う。 ○生徒が主体とな って活動や行事 を企画・運営 し、生徒同士の 交流を図る。	りプログラム を活用した授 業を学期に1 回以上実施す る。 ○「他の人に対 して、やさし さや思いやり をもつことが できるようにな った」と答 える生徒 (80%)	
ウ	自律した生徒 の育成を目指 すとともに、 よりよい進路 実現に向けた 支援体制を構 築する。	○年間を通した適 切なキャリア教 育計画を立案す る。 ○職場体験学習、 職業講話等を実 施する。 ○進路講座を複数 回実施する。 ○高校見学を実施 する。	○「夢や目標が ある」と答え る生徒 (80%) ○「なりたい自 分をみつける ことができた 」と答える 生徒(80%)	進路指導課
エ	生徒一人一人 の良さを認め、生徒一人 一人に寄り添 った教育相談 体制の充実を 図る。	○教育相談の機会 を学期に1回以 上実施する。 ○スクールカウ ンセラー、ソー シャルワーカー を活用する。	○「よいところ がある」と答 える生徒 (80%) ○「応援してく れる人がい る」と答える 生徒(80%) ○「相談する人 がいる」と答 える生徒 (80%)	生徒指導課
オ	校内の危機管 理体制を整備 するととも	○避難訓練を年3 回行う(地震、 火災、防犯)。	○「学校で安 心・安全に過 ごすことがで	総務課

	に、危機管理意識を向上させる。	○各種マニュアルを更新し、教職員の動きを明確にする。	きる」と答える生徒(80%)	
カ	地域住民、保護者との連携を推進し、信頼される学校づくりを行う。	○地域のボランティア等に参加する。 ○三者面談の機会を年3回持つ。 ○学校の様子をHPやSNS等で伝える。	○「地域の行事や活動に参加したい」と答える生徒(60%)	生徒指導課
キ	研修を通じて教職員の資質向上を図るとともに、教職員の働き方改革を推進する。	○校内研修で日本語指導の研修を行う。 ○教諭は年間で一人一回は研究授業を行う。	○「生徒が学ぶ喜びを実感できるように授業づくりを工夫した」と答える教員(80%) ○「心身の健康増進に努めることができた」と答える教職員(80%)	研修課

<三島教室>

	取組目標	達成方法	成果目標	担当部署
ア	多様な生徒に対する学習指導体制を整え、基礎学力の向上を図る。	○生徒個々の学習歴や日本語力に配慮し、生徒が自分でコース選択することができるカリキュラムを編成する。 ○やさしい日本語を意識し、「学ぶ喜び」を実感できる教科の本質に触れる授業	○「自分の選んだコースの授業は自分に合っていた」「授業の内容はよくわかった」「授業中にいろいろな先生がいてくれてよかったと思うことが多い」と答え	教務課 研修課

		づくりを行う。	る生徒90%以上	
イ	他者をいたわり、人間関係を大事にする心を養い、問題行動の未然防止を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒同士の間人間関係を広げ地域や日本の文化に触れる機会としての教場別遠足を2回計画する。 ○人間関係プログラムや特別な教科道徳の授業を通して、思いやりの心や人と関わる良好な態度を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「仲間の気持ちを考えて思いやりをもって関わられた」「みんなで居心地のよいクラスづくりをしている」と答える生徒90%以上 	生徒指導課
ウ	生徒一人ひとりに寄り添い、よりよい進路を見つけ、その実現を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ○年間に6～7回の面談を実施。 ○ふじのくにタイムを使ったキャリア教育を実施。 ○長陵高校の授業参観を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○「ふじのくにタイムや面談をきっかけに、自分の将来について考えるようになった」と答える生徒90%以上 ○長陵高校の授業見学を実施 	進路指導課
エ	自己健康管理ができる生徒を育成するとともに、教育相談体制の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ○始めの会での健康観察調べを毎日実施する。 ○年間に2回の保健相談を実施 ○健康講座を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「病気やけがに気をつけている」「先生は相談にのってくれる」と答える生徒90%以上 	保健課

オ	校内の危機管理体制を整備するとともに、危機管理意識を向上させる。	○年間2回の防災訓練（地震・火災）を実施する。 ○外部講師を招聘し、防犯訓練を実施する。	○「防災訓練に真剣に取り組んだ」と答える生徒90%以上	総務課
カ	地域、保護者との連携を推進し、信頼される学校づくりを行う。	○1か月あたり複数回のホームページ更新。 ○さくら連絡網を双方向の連絡ツールとして活用し、生徒や保護者との連携を図る。	○「先生は家族や地域の方に丁寧に対応している」「ホームページは学校生活の様子がわかりやすい」と答える生徒90%以上	図書課
キ	研修を通じて教職員の資質向上を図るとともに、教職員の働き方改革を推進する。	○月1回の校内研修と生徒を語る会、全本務職員で県外視察を実施。また非常勤職員を含めた研修を実施。 ○21:00にPCの電源を切り、生徒の様子を共有する。21:15には全員で退庁	○「実際に意義のある研修だった」と答える職員90% ○21:15の定時退庁100%	研修課

4 監査対象期間における特色ある取組

<磐田本校>

年度	取組概要	成果及び課題
令和6年度	○生徒の実態（日本語能力、学習歴）を踏まえた学習コース設定と授業改善 ○体験的な活動や生徒主体の行事の企画・運営	今年度は生徒の出席率が低いことが大きな課題であった。その解決策として生徒の実態に応じた学びを提供すること、学校生活を楽しいものにすることの2点を掲げ、教育課程を編成した。 1点目の方策は学習コースの設定と授

		<p>業改善である。生徒の実態を踏まえて、日本語の習得差に応じたコース、数学の習熟度に合わせたコースを設け、個別最適な学習を目指した授業改善によって、「授業が楽しい」「授業の内容がよくわかる」「本校の学びを通して成長している」と答えた生徒の割合が高まった（成果）。3学年がそろそろ来年度は今年度と同様のコース設定は難しいため、新たな仕組みづくりが必要となっている（課題）。</p> <p>2点目の方策は、体験的な活動や生徒主体の行事の企画・運営である。5月の運動会を皮切りに、ものづくり体験、職業体験、文化芸術鑑賞、薬学講座、学習発表会などの体験的な活動を行った。また、生徒主体でハロウィンやクリスマス会などの行事を行った。これらの活動を通して、「学校に行くのが楽しい」「本校の学びを通して成長している」と答えた生徒の割合が高まった（成果）。</p> <p>来年度は、本校初の卒業生を輩出することになる。キャリア教育等を充実させ、卒業を迎える生徒一人一人が社会で自立した生活を送れるように指導、支援していきたい。</p>
令和7年度	<p>○生徒の実態（学習歴、日本語能力）を踏まえた学習コース設定と授業改善を行う。</p> <p>○キャリア教育の視点から、体験活動や進路学習を充実・配置する。</p>	<p>今年度は生徒の出席率もたいへん高く、学校としての雰囲気や体裁が整ってきた1年であった。授業や学校行事においても中学校としての活動に近づき、学校教育目標である「学びなおし」を支える環境が急速に整ったともいうことができる。このような状況から、さらなる飛躍を目標に教育課程を編成した。</p> <p>1点目の方策は、昨年度の学習コースの設定と授業改善をさらに進めたことである。生徒の実態や希望を複数回の面談で聞き取るだけでなく、日本語能力を測定し、適切なコース選択を学校側から提</p>

		<p>案できるようにした。日本語の能力に応じて4コース、教科学習を学年別に行うようにし、最大7集団での授業展開を計画している。これらの個別最適な学習を目指した授業改善によって、「授業が楽しい」「授業の内容がよくわかる」「本校の学びを通して成長している」と答えた生徒の割合が継続して高い評価となっている（成果）。</p> <p>2点目の方策は、キャリア教育の視点から体験活動や進路学習の機会を充実させ、年間計画の中に適切に配置することである。目標として掲げる「学びなおし」の中には、一般的な中学校で体験するはずの授業以外の活動をも含んでおり、運動会や学習発表会などの集団で取り組む活動だけでなく、ものづくり体験、職業体験、文化芸術鑑賞、薬学講座などの体験的な活動も含まれる。これらの活動を通して、「学校に行くのが楽しい」「本校の学びを通して成長している」と答えた生徒の割合が高まった（成果）。</p>
--	--	---

<三島教室>

年度	取組概要	成果及び課題
令和6年度	<p>自分から、自分らしく、社会（仲間）と関わることができる生徒を育成する。</p> <p>①生徒個々の学習歴や日本語力に配慮し、生徒が自分でコース選択することができるカリキュラムを編成する。</p> <p>②「学ぶ喜び」を実感できる教科の本質に触れる授業づくりを行う。</p>	<p>生徒にとって必要な学習や支援、それを可能にするための学校のあり方について、全職員でアイデアを出し合い生徒と関わった。</p> <p>①日本語のコースと数学のコース選択を軸とした、生徒それぞれのニーズに合ったカリキュラムをめざし学習指導を行った。生徒の背景がさらに多様化する次年度に向けて、編入制度の利用も含めたより柔軟なカリキュラムの編成について議論し、実践していく。</p> <p>②生徒にとって身近な題材や、視覚的に事象をとらえられる教材をもとに授業を構想した。T1・T2で学習課題を</p>

	<p>③生徒同士の人間関係を 広げ地域や日本の文化 に触れる機会としての 教場別遠足を計画す る。</p> <p>④卒業後に「自分から、 自分らしく、社会と関 わる」ために必要な考 え方や知識を身につけ るためのキャリア教育 を推進する。</p> <p>⑤チーム三島教室として 生徒のための学校のあ り方を考える研修を推 進する。</p> <p>⑥必要な会議を精選しゆ とりを生み出すことで 働き方改革を推進す る。</p>	<p>事前に共有し、課題が生徒に入りやす いか、教科の本質に触れる思考ができ るかどうかを検討した。</p> <p>③多くの生徒が遠足を楽しみにしてお り、実際に参加したことから、校外行 事の必要性を実感した。生徒が友達と の良い思い出を作るだけでなく、職員 が生徒の良さを別の角度から発見し、 それを称揚することで生徒に還元でき たことは大きな成果だった。</p> <p>④主に、他との関わり方について学ぶ学 習や、職業観を育てる学習を実践し た。既に職に就いている生徒も多く、 自身の働き方と対応させながら将来の 夢に近づくための道筋を思い描くこと ができた。次年度は、日本の社会でよ りよく生きるために必要なキャリア教 育をさらに推進していく。</p> <p>⑤今年度はTTの連携のあり方について 主に研修をした。次年度は日本語支援 が必要な生徒がさらに増えるため、三 島教室ならではの充実した日本語教育 について研修をしていく。</p> <p>⑥型に縛られることなく、担当課が必要 な議題を必要な時に取り上げることで 会議を精選し、ゆとりを生み出した。 その時に必要なことについて情報を共 有し時間をかけて語り合うことが、よ い職場の雰囲気づくりにもつながった。 全員での定時退庁も働き方改革の 一端を担っている。</p>
令和7年度	<p>自分から、自分らし く、社会（仲間）と関わ ることができる生徒を育 成する。</p> <p>①生徒個々の学習歴や日 本語力に配慮し、生徒 が自分でコース選択す ることができるカリキ</p>	<p>生徒理解に努め、生徒にとって必要な 学習や支援、それを可能にするための学 校のあり方について、全職員でアイディ アを出し合い生徒と関わった。</p> <p>①日本語のコースと数学のコース選択を 軸とした、生徒それぞれのニーズに合 ったカリキュラムをめざし学習指導を 行った。コースの確認のための面談を</p>

	<p>キュラムを編成する。また、本人の希望や学習状況に応じて年度途中のコース変更を行う。</p> <p>②「学ぶ喜び」を実感できる教科の本質に触れる授業づくりを行う。</p> <p>③生徒同士の人間関係を広げ地域や日本の文化に触れる機会としての教場別遠足を計画する。</p> <p>④卒業後に「自分から、自分らしく、社会と関わる」ために必要な考え方や知識を身につけるためのキャリア教育を推進する。</p> <p>⑤チーム三島教室として生徒のための学校のあり方を考える研修を推進する。</p> <p>⑥運営員会で必要な議題を出し、見通しをもって学校運営を進める。また、全員で定時退庁することを目標に、働き方革を推進する。</p>	<p>行い、生徒の希望や実態に合わせてコース変更を行った。生徒の背景がさらに多様化し、生徒数が増加する次年度に向けて、編入制度の利用も含めたより柔軟なカリキュラムの編成について議論し、実践していく。</p> <p>②タブレットやICTを活用し、生徒にとって興味・興味関心をもつ題材や、視覚的に事象をとらえられる教材をもとに授業を構想した。基本的に全授業でITを活かした授業を行い、課題が生徒に入りやすいか、教科の本質に触れる思考ができるかどうかを検討した。</p> <p>③遠足に参加した生徒から「楽しかった」という感想が多く聞かれた。しかし、校外で行う遠足は、練習や準備の負担が大きい割に参加率が低かった。来年度は別の方法で人間関係を広げる手立てを考えたい。</p> <p>④主に、日本の社会でよりよく生きるために必要なキャリア教育を実践した。次年度は、よりよく社会と関わり、将来の夢に近づくための道筋を思い描く学習を実践していく。</p> <p>⑤今年度は「やさしい日本語」のあり方について主に研修をした。次年度は日本語支援が必要な生徒がさらに増えるため、三島教室ならではの充実した日本語教育について研修をしていく。</p> <p>⑥担当課が見通しももって議題を提案し、その時に必要なことについて情報を共有し時間をかけて語り合うことが、よい職場の雰囲気づくりにもつながった。全員での定時退庁も働き方改革の一端を担っている。</p>
--	---	---

5 教職員について

(1) 令和6年度末異動状況

区分	磐田本校											三島教室													
	本務職員						本務計	臨時・会計年度任用職員			臨時・会計年度計	合計	本務職員					本務計	臨時・会計年度任用職員			臨時・会計年度計	合計		
	教育職員			行政職員				教諭	非常勤講師	スクール・サポート・スタッフ			教育職員		行政職員				教諭	養護教諭	非常勤講師				
	校長	教諭	養護教諭	小計	主査	主任							小計	教頭	教諭	小計	主任							小計	
転出		2		2	1		1	3				0	3	1	1	2		0	2				0	2	
退職				0			0	0	1	2		3	3			0		0	0				5	5	5
転入		2		2		1	1	3				0	3		3	3		0	3				0	3	
新任				0			0	0	2	2		4	4			0		0	0	2			3	5	5
昇任				0			0	0				0	0	1	1	0		0	0				0	0	
差引増減	0	0	0	0	△1	1	0	0	1	0	0	1	1	0	1	1	0	0	1	2	0	△2	0	1	

(2) 現員数

<磐田本校>

区分	本務職員							臨時・会計年度任用職員				合計	
	教育職員				行政職員			本務計	教諭	非常勤講師	スクール・サポート・スタッフ		臨時・会計年度計
	校長	教諭	養護教諭	小計	主任	小計							
男	1	2		3	1	1	4	2	2		4	8	
女		2	1	3			3	1	4	1	6	9	
計	1	4	1	6	1	1	7	3	6	1	10	17	

<三島教室>

区分	本務職員						臨時・会計年度任用職員				合計	
	教育職員			行政職員			本務計	教諭	養護教諭	非常勤講師		臨時・会計年度計
	教頭	教諭	小計	主任	小計							
男		6	6			6	2		2	4	10	
女	1		1	1	1	2		1	3	4	6	
計	1	6	7	1	1	8	2	1	5	8	16	

(3) 健康管理について

<磐田本校>

【健康診断】

- ・教職員健康診断の確実な受診を促した。また、要精密検査者の再受診を徹底し、全教職員の健康管理に留意した。

【心身の健康管理】

- ・健康管理医訪問前に「健康に関するアンケート」を実施した。教職員の心身の状況を把握し、必要に応じて労働環境の見直し等、適切な対応を行った。
- ・ストレスチェックの実施と評価を受けて、職員が自身の健康を振り返られるように、適切な啓蒙活動を行った。

【職場の安全管理（健康管理医含む）】

- ・生徒の授業と同一日に、救急法講習会を実施した。
- ・教職員の定期健康診断の結果を健康管理医が判断し、該当職員にサービスの調整が必要か相談する。
- ・健康管理医による職場環境調査を実施し、職場環境を健全な状態に維持した。
- ・健康管理医訪問前に、健康に関するアンケートを実施し、希望する職員に面談の機会を設定した。
- ・1ヶ月の勤務が80時間を超える職員がいないか、校長と共に確認をした。改善が見られない職員がいた場合は、健康管理医との面談の希望調査を実施する計画をたてた。

<三島教室>

- ・定期健康診断の確実な受診を図る。また、要精密検査者の再受診を徹底し、全教職員の健康管理に留意した。
- ・ストレスチェック及び面談により教職員の心身の状況を把握し、必要に応じて労働環境の見直し等、適切な対応を図る。
- ・健康管理医による職場巡視及び学校職員衛生委員会を実施し、職場環境の健全維持に努めた。
- ・令和6年度の学校職員衛生委員会の主な内容
 1. 年間計画について
 2. 労働環境改善について
 3. 安全点検について
 4. ストレスチェック実施について
 5. 救急法研修について
 6. 職員の勤務状況について
 7. 職員健康診断結果の確認と管理区分の判定及び指導

(4) 教職員の研修について

ア 研修の目的

- ・生徒一人ひとりが自分の夢や目標に向かって、他者と関わりながら主体的に学

び続けることができるよう、教職員研修を通して教育課程や指導・支援の確立を図る。

イ 研修内容

【両校共通】

- ・研修主題は磐田本校と三島教室で共通のものとする。
- ・学ぶ喜びの3つの重点（「教科等で学ぶ喜び」「日本語で学ぶ喜び」「みんなで学ぶ喜び」）を大切にしながら、各教場の実態に応じた手立てを講じる。
- ・授業、分掌について、個人で研究を進める個人研修テーマを設定する。
- ・夏季休業中に情報交換を中心とした全体研修会をもつ。
- ・夏季休業以後、交流研修の機会をもち互いの学校を訪問して授業を見合う。

【磐田本校】

磐田本校では、以下の観点で研修を進める。

- ・日本語を母語としない生徒への授業支援の仕方。
- ・ICT機器の活用
- ・日本語の初期日本語レベルから基礎レベルへ移行するための指導や支援のありかた
- ・「学びの喜び」を実感させる授業づくりの模索
- ・知的好奇心を高める魅力ある授業づくり

【三島教室】

三島教室では、以下の観点で研修を進める。

- ・教科の本質を押さえた授業研究（「聞いて！私の失敗」）
- ・1時間完結型の授業の研究
- ・ティームティーチングの連携や効果的な活用
- ・ICT機器の活用（オンライン授業・ロイロノートの活用）
- ・やさしい日本語研修

ウ 成果と課題

【両校共通】

- ・全体研修会では、両教場の実態を背景に個々の教職員の課題に対して、互いに参考になる意見に耳を傾け合い課題解決の方向性を探る機会となった。
- ・個人研修テーマは、1年間の自身の研究の方向性を明確にするとともに、交流研修等で自分が参考にしたい授業を選ぶ際の資料としても活用できた。
- ・9月24日～11月27日交流研修を開催（全12回）。授業参観と事後研修を行い、授業づくりや学校運営を考える有意義な機会となった。

【磐田本校】

- ・教科指導に関わる全職員が、互いの授業を見合う形で研究授業を行い、事後研修では、自分の授業に取り入れたい工夫について話し合い、研修を深めた。
- ・初期日本語の研究授業を行い、必要な指導や支援の在り方について話し合い、指導者及び参観者ともに資質の向上につながった。
- ・月に1回の日本語コーディネーターの指導を受け、日本語の学びを効果的にす

る手立てや、学習言語を習得するためのJSLカリキュラムについて知見を得た。

【三島教室】

- ・教場別研修では「失敗を語ろう」をテーマに授業の「失敗談」をもとに協議を深め、他者の失敗を自分事として捉え、授業に生かすことができた。
- ・長期休業中に本務教職員だけでなく、非常勤の教員にも参加してもらい、日本語支援の在り方についてネパール語での授業を参観し、意見交換を行う中で「やさしい日本語」について研修等を行った。本校の生徒の実態を再確認するとともに、どのような手立てが必要かを協議できた。
- ・課題として、今後さらに生徒の実態が多様化する中で、日本語が未習得の生徒に対する母語支援の在り方や特別な支援を要したりする生徒への対応が求められる。個々に対応する学校体制の構築が研修課を通して考える必要がある。

6 防災対策について

<両校共通>

- ・学校危機管理マニュアル（学校警備計画書、防災計画書を兼ねる）を作成し、それに基づいた教育活動を実施する。
- ・学校危機管理マニュアルを随時見直し、学校の実情により即したものとしていく。
- ・年間3回の避難訓練や防災学習を位置付け、生徒の防災意識を高めると共に、災害時に適切な行動をとることができるようにする。
- ・生徒の生命・身体の安全確保のため、校舎内外の施設・設備を再点検し整備する。

【避難訓練・防災学習】

<磐田本校>

年度	実施日	内容
6	4月17日（水）	○地震が発生した時の適切な行動の仕方や避難経路を学ぶ。 ・地震から命を守る行動 ・避難するときの約束の合言葉「おはしも」（おさない・はしらない・しゃべらない・もどらない） ・避難経路の確認
6	9月2日（月）	○火災が発生した時の適切な行動の仕方を学ぶ。 ・どんなときに火災が発生しやすいのか ・トラッキング火災や二次火災 ・火災から命を守るための行動 ・煙の中を想定した避難訓練
6	1月8日（水）	○通学中に想定される危険や安全な通学路を考える。 ○不審者から身を守る行動の仕方を学ぶ。
年度	実施日	内容
7	4月16日（水）	○火災が発生した時の適切な行動の仕方を学ぶ。 ・火災が入口で発生した場合は非常階段、教室で発生し

		<p>た場合は階段を使う避難経路を実際に歩く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・火災から命を守るための行動 ・煙の中を想定し、教室から外に出る避難訓練
7	9月1日(月)	<p>○地震が発生後の適切な行動の仕方や避難場所を学ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地震から命を守る行動(揺れている最中の動き) ・学校で大地震発生の際は、家族の引き渡しのみ下校できることを知る。地域の避難訓練参加の呼びかけ。
7	1月6日(火)	<p>○自分の身は自分で守る。防犯教室</p> <ul style="list-style-type: none"> ・磐田警察署生活安全課指導員に来校してもらい、薬物から身を守る、自分の持ち物を守る、自分の体を守る…を講義していただく。 ・自分の体を守るでは、簡単な護身術を覚えてもらう。

<三島教室>

年度	実施日	内容
6	4月19日(金)	<p>【火災】 避難経路・避難時の約束の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難場所を確認する。 ・建物火災の動画を視聴する。 ・避難するときの注意事項(おかしも)を確認する。 ・火災の場所から、避難系経路を考える。 ・実際に避難をする。 ・救助袋の使い方を知る。
6	9月6日(金)	<p>【地震】 南海トラフ地震臨時情報について。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今、この教室で地震が起きたらどうしたらよいかを考える。 ・避難場所の体育館までの避難経路を考える。 ・特別教室からの避難経路を考え、実際に避難をする。 ・エレベーターの中にいるときに、地震が起きたらどうするかを考える。
6	1月17日(金)	<p>【防犯】 インターネットやSNSの適切な扱い方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「知らない人から名前を呼ばれて、声を掛けられた」という事例から、どうしてこうなったのかを考える。 ・○×クイズを行う。 <ul style="list-style-type: none"> 1 インターネットは世界中の人が使っている。 2 インターネットでねらわれているのは、女子だけである。 3 ゲームアプリで知り合った人のプロフィールに、「20才・女子大生」と書いてあり、写真もやさしそうな女の人だったので、この人なら何でも相談してよい。

		<p>4 人に見られたくない写真は、友だちになら送ってもかまわない。</p> <p>5 インターネットにのせた名前や写真は、簡単には消すことができない。</p> <p>6 ゲームアプリで知らない人と協力プレイをしたが、やさしいと思った人なら、実際に会ってもよい。</p> <p>7 インターネットの情報は、全て正しいことがのっている。</p> <p>・クイズの内容を元に、これまでの経験を振り返る。</p>
年度	実施日	内容
7	4月18日（金）	<p>【火災】 学校で火災が起きたときの適切な対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・救助袋、消火栓、消火器の位置とそれらの使用方法を確認する。 ・避難場所、避難経路、避難方法について理解する。 ・避難場所に避難する。
7	9月5日（金）	<p>【地震】 学校で南海トラフ地震が起きたとき適切な対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プレート型地震の起こる仕組みを理解する。 ・緊急地震速報の仕組みを理解する。 ・避難場所、避難経路、避難方法について理解する。 ・避難場所に避難する。
7	1月16日（金）	<p>【防犯】 闇バイトの誘いや詐欺電話への適切な対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最近の闇バイトの誘いや詐欺電話の被害状況を確認する。 ・スマホに闇バイトの誘いが入ったときの対応を、ロールプレイで考える。 ・ロールプレイを振り返り、適切な対応の仕方を理解する。

7 学校開放について

- ・磐田本校は複合商業施設の一部を市から借用し、三島教室は県立三島長陵高校の施設の一部を借用及び共用しているため、現時点では学校開放は実施しない。

□□□□

事務執行の根拠法令調

項 目	根拠法令
学校教育に関すること	教育基本法（第1条、第2条、第4条） 学校教育法（第1条、第2条、第3条、第45条、 第46条、第47条、第48条、第49条） 学校教育法施行規則 教育機会確保法（第14条） 学校保健安全法（第5条） 静岡県立学校設置条例 静岡県立中学校学則 中学校学習指導要領 理科教育振興法（第11条） 理科教育振興法施行令 いじめ防止対策推進法
学校の管理・運営に関すること	学校教育法（第137条） 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（第33条） 静岡県立学校管理規則 教育公務員特例法（第21条、第22条） 学校保健安全法（第15条、第27条） 静岡県立学校職員安全衛生管理規程 学校図書館法（第3条、第4条） 静岡県教育委員会処務規程 静岡県情報公開条例施行規則 独立行政法人日本スポーツ振興センター法（第16条、第17条）

学校施設の概要(三島教室)

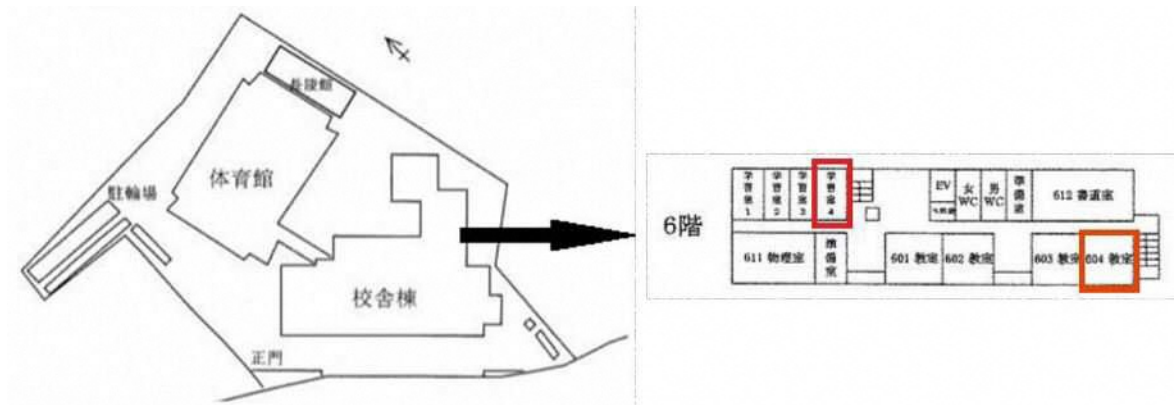
1 面積及び所有区分

(令和7年10月31日現在)

区 分	面 積 m ²	所 有 内 訳					摘 要
		県 有 m ²	国 有 m ²	市町村有 m ²	後援会有 m ²	民 有 m ²	
学 校 敷 地	214.19	214.19					三島長陵高等学校・三島北高等学校・三島市立北中学校使用承認
内 訳	校舎敷地	102.58	102.58				三島長陵高等学校使用承認
	運動場敷地						
	そ の 他 の 敷 地	111.61	111.61				三島北高等学校・三島市立北中学校使用承認
校 舎	建 67.14 延 67.14	建 67.14 延 67.14					三島長陵高等学校使用承認

2 配置・規模等

(1) 校舎等の配置図



(2) 学校施設の規模等(法面・演習林等を除く)

区 分	学校敷地面積	校舎延面積	運動場面積
当 校	124.19m ²	67.14m ²	0m ²
県平均			

□□□□

在 籍 生 徒 調

(令和7年10月31日現在)

学年	教場別		磐田本校			三島教室			(合 計)		
	区分		男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	合計
1年	入 学 者		6	4	10	4	8	12	10	12	22
		増 加									
		減 少									
	現 在		6	4	10	4	8	12	10	12	22
2年	入 学 者		9	7	16	6	3	9	15	10	25
		増 加									
		減 少	4	3	7				4	3	7
	2年時当初		5	4	9	6	3	9	11	7	18
		増 加					4	4		4	4
		減 少				2		2	2		2
	現 在		5	4	9	4	7	11	9	11	20
3年	入 学 者		5	4	9	1	4	5	6	8	14
		増 加									
		減 少	3	4	7		1	1	3	5	8
	2年時当初		2	0	2	1	3	4	3	3	6
		増 加									
		減 少				1		1	1		1
	3年時当初		2	0	2	0	3	3	2	3	5
		増 加	6	3	9	1	4	5	7	7	14
		減 少	1		1		2	2	1	2	3
現 在		7	3	10	1	5	6	8	8	16	
合 計			18	11	29	9	20	29	27	31	58

□□□□

入学志願者及び入学者数調

(夜間中学用)

区分	年度	令和5年度		令和6年度		令和7年度		年度		年度	
		磐田本校	三島教室	磐田本校	三島教室	磐田本校	三島教室	磐田本校	三島教室	磐田本校	三島教室
志願者数	所属別										
	男	7	2	15	7	12	9				
	女	5	4	7	4	7	17				
	計(A)	12	6	22	11	19	26				
面接実施者数	男	7	2	11	6	12	9				
	女	5	4	7	4	7	17				
	計(B)	12	6	18	10	19	26				
入学許可数	男	6	2	11	6	12	9				
	女	4	4	7	4	7	17				
	計(C)	10	6	18	10	19	26				
面接率	(B)/(A)	1.00	1.00	0.82	0.91	1.00	1.00				
入学者数	男	5	1	9	6	11	4				
	女	4	4	7	3	7	16				
	計(D)	9	5	16	9	18	20				
入学率	(D)/(A)	0.75	0.83	0.73	0.82	0.95	0.77				

□□□□

生徒の状況（磐田本校）

1 生徒の出身地域及び通学方法

(1) 出身地（令和7年10月31日現在）（単位：人）

市町名	磐田市	浜松市	袋井市	掛川市	牧之原市	吉田町	藤枝市	合計
生徒数	15	5	3	3	1	1	1	29
構成比%	51.7%	17.3%	10.4%	10.4%	3.4%	3.4%	3.4%	100%

(2) 通学方法（令和7年10月31日現在）（単位：人）

区分	電車	自転車	徒歩	車	バス	合計
生徒数	14	10	2	2	1	29
構成比%	48.3%	34.5%	6.9%	6.9%	3.4%	100%

(3) 生徒の年齢（令和7年4月1日現在）（単位：人）

区分	15歳	16歳	17歳	18歳	19歳	20歳	21歳	22歳	23歳	24歳	25歳超	計
1年	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	10
2年	0	3	0	0	0	1	0	0	0	0	5	9
3年	5	2	1	2	0	1	0	0	0	0	0	11
計	10	5	1	2	0	2	0	0	0	0	10	30

(4) 生徒の就業状況（令和7年10月31日現在）（単位：人）

区分	建設	製造	卸小売	サービス業	各種学校	その他	無職	計
1年	0	0	0	2	0	1	7	10
2年	0	2	0	5	0	0	2	9
3年	0	3	0	1	0	0	6	10
計	0	5	0	8	0	1	15	29

2 部（クラブ）の加入状況

（令和7年10月31日現在）（単位：人）

区分	運動部	文化部	未加入者	計
部(クラブ)数	0	0		0

□□□□

生徒の状況（三島教室）

1 生徒の出身地域及び通学方法

(1) 出身地（令和7年10月31日現在）（単位：人）

市町名	三島市	沼津市	富士市	富士宮市	静岡市	御殿場市	裾野市	清水町	長泉町	函南町	合計
生徒数	5	4	2	1	1	2	2	8	1	3	29
構成比%	17.3	13.8	6.9	3.4	3.4	6.9	6.9	27.6	3.4	10.4	100

(2) 通学方法（令和7年10月31日現在）（単位：人）

区分	電車	バス	自転車	車	徒歩	送迎	合計
生徒数	10	0	11	2	3	3	29
構成比%	34.5	0	38.0	6.9	10.3	10.3	100

(3) 生徒の年齢（令和7年4月1日現在）（単位：人）

区分	15歳	16歳	17歳	18歳	19歳	20歳	21歳	22歳	23歳	24歳	25歳超	計
1年	3	2	2	2	・	・	・	1	1	・	1	12
2年	・	7	1	1	・	・	・	・	・	・	3	12
3年	2	2	・	・	1	・	・	・	・	1	2	8
計	5	11	3	3	1	・	・	1	1	1	6	32

(4) 生徒の就業状況（令和7年10月31日現在）（単位：人）

区分	建設	製造	卸小売	サービス業	各種学校	その他	無職	計
1年	0	0	0	3	0	1	8	12
2年	0	0	1	3	0	1	6	11
3年	0	0	0	3	0	0	3	6
計	0	0	1	9	0	2	17	29

2 部（クラブ）の加入状況

（令和7年10月31日現在）（単位：人）

区分	運動部	文化部	未加入者	計
部(クラブ)数	0	0		0

□□□□

歳 入 予 算

一般会計

区 分	調 定 額 A 円	収 入 済 額	
		納 期 内 B 円	納 期 後 C 円
款 14諸収入	3,660	3,660	0
項 07雑入	3,660	3,660	0
目 02雑入	3,660	3,660	0
90保険料負担金	3,660	3,660	0
計	3,660	3,660	0

執 行 状 況 調

(令和 7年度)
(令和 7年10月31日現在)

不 納 欠 損 額 D	収 入 未 済 額			収 入 歩 合	納 期 内 収 入 率
	納 期 限 経 過 E	納 期 限 未 到 来 F	計	$\frac{B+C}{A-D-F}$	$\frac{B}{A-D-F}$
円	円	円	円	%	%
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0

□□□□

預 金 調

(令和7年10月31日現在)

金融機関名	預金種類	口座番号	口座名義人	残高(円)	摘要
静岡銀行 磐田支店	無利息型 普通預金	1328059	静岡県立ふじのくに中学校 資金前渡者 校長 鈴木 仁之	0	給与
静岡銀行 磐田支店	無利息型 普通預金	1328388	自振口 静岡県立ふじのくに中学校 資金前渡者 校長 鈴木 仁之	0	社会保険 (口座振替)
残 高 合 計				0	

□□□□

郵 券 等 受 払 調

(令和7年10月31日現在)

(単位：枚、円)

区 分	種 類	令 和 6 年 度						令 和 7 年 度						差引現在高	摘 要	
		繰 越		受 入		払 出		繰 越		受 入		払 出				
		枚数	金 額	枚数	金 額	枚数	金 額	枚数	金 額	枚数	金 額	枚数	金 額			
天平のまち 駐車券	100円券	0	0	717	71,700	499	49,900	218	21,800	200	20,000	311	31,100	107	10,700	来客用 駐車場
計			0		71,700		49,900		21,800		20,000		31,100		10,700	
郵便	110円券	0	0	0	0	0	0	0	0	25	2,750	18	1,980	7	770	返信用
計			0		0		0		0		2,750		1,980		770	

□□□□

歳入歳出外現金調

県立高校中学校 ふじのくに中

(令和 6年度)

区 分	越 高	受 高	払 高	残 高	摘 要
所得税	円 0	円 148,084	円 134,817	円 13,267	
計	0	148,084	134,817	13,267	

□□□□

歳入歳出外現金調

県立高校中学校 ふじのくに中

(令和 7年度)

(令和 7年10月31日現在)

区 分	越 高	受 高	払 高	残 高	摘 要
所得税	円 13,267	円 135,388	円 135,780	円 12,875	
計	13,267	135,388	135,780	12,875	

Z1B0070
Z1RB0070

歳出予算執行状況調

(令和 6年度)

一般会計

区 分	令 達 予 算 額	支 出 済 額	支 出 未 済 額	摘 要
	円	円	円	
款 11 教育費	27,067,462	27,067,462	0	
項 02 教育委員会費	200,000	200,000	0	
目 04 教育厚生費	200,000	200,000	0	
01 報酬	200,000	200,000	0	
03 非常勤職員報酬	200,000	200,000	0	
項 04 中学校費	25,594,833	25,594,833	0	
日 01 教職員費	8,812,471	8,812,471	0	
01 報酬	6,328,002	6,328,002	0	
03 非常勤職員報酬	6,328,002	6,328,002	0	
04 共済費	2,254,884	2,254,884	0	
02 報酬、給料及び賃金に係る社会保険料	2,254,884	2,254,884	0	
08 旅費	229,585	229,585	0	
01 その他の旅費	229,585	229,585	0	
目 02 中学校管理費	16,782,362	16,782,362	0	
01 報酬	2,036,000	2,036,000	0	
03 非常勤職員報酬	2,036,000	2,036,000	0	
07 報償費	56,455	56,455	0	
01 その他の報償費	56,455	56,455	0	
08 旅費	986,487	986,487	0	
01 その他の旅費	5,536	5,536	0	
02 普通旅費	980,951	980,951	0	
09 交際費	0	0	0	
10 需用費	6,614,781	6,614,781	0	
01 その他の需用費	6,614,313	6,614,313	0	
02 食糧費	468	468	0	
11 役務費	293,474	293,474	0	
12 委託料	491,040	491,040	0	
13 使用料及び賃借料	1,802,517	1,802,517	0	

県立高校中学校 ふじのくに中

ZIB0030
ZIRB0030

(令和 6年度)

一般会計

区 分	令 達 予 算 額	支 出 済 額	支 出 未 済 額	摘 要
	円	円	円	
17 備品購入費	1,429,890	1,429,890	0	
18 負担金、補助及び交付金	3,071,718	3,071,718	0	
項 08 学校教育費	1,272,629	1,272,629	0	
目 02 義務教育費	1,204,429	1,204,429	0	
01 報酬	830,974	830,974	0	
03 非常勤職員報酬	830,974	830,974	0	
03 職員手当等	373,455	373,455	0	
01 その他の職員手当等	373,455	373,455	0	
04 共済費	0	0	0	
02 報酬、給料及び賃金に係る社会保険料	0	0	0	
08 旅費	0	0	0	
01 その他の旅費	0	0	0	
目 04 健康体育費	68,200	68,200	0	
11 役務費	68,200	68,200	0	
計	27,067,462	27,067,462	0	

歳出予算執行状況調

(令和 7年度)
(令和 7年10月31日現在)

一般会計

区 分	令 達 予 算 額	支 出 済 額	支 出 未 済 額	摘 要
	円	円	円	
款 12 教育費	33,150,236	12,415,595	20,734,641	
項 02 教育委員会費	210,000	0	210,000	
目 03 教育管理費	10,000	0	10,000	
08 旅費	10,000	0	10,000	
02 普通旅費	10,000	0	10,000	
目 04 教育厚生費	200,000	0	200,000	
01 報酬	200,000	0	200,000	
03 非常勤職員報酬	200,000	0	200,000	
項 04 中学校費	31,140,976	11,720,718	19,420,258	
目 01 教職員費	12,740,976	5,789,430	6,951,546	
01 報酬	6,328,000	2,335,398	3,992,602	
03 非常勤職員報酬	6,328,000	2,335,398	3,992,602	
04 共済費	6,016,876	3,247,916	2,768,960	
02 報酬、給料及び賃金に係る社会保険料	6,016,876	3,247,916	2,768,960	
08 旅費	396,100	206,116	189,984	
01 その他の旅費	229,000	39,016	189,984	
02 普通旅費	167,100	167,100	0	
目 02 中学校管理費	18,400,000	5,931,288	12,468,712	
01 報酬	2,282,000	0	2,282,000	
03 非常勤職員報酬	2,282,000	0	2,282,000	
07 報償費	368,000	82,250	285,750	
01 その他の報償費	368,000	82,250	285,750	
08 旅費	1,237,000	238,942	998,058	
01 その他の旅費	138,000	8,544	129,456	
02 普通旅費	1,099,000	230,398	868,602	
09 交際費	10,000	0	10,000	
10 需用費	5,310,000	2,770,357	2,539,643	
01 その他の需用費	5,300,000	2,767,605	2,532,395	

県立高校中学校 ふじのくに中

ZIB0030
ZIRB0030

□□□□

一般会計

(令和 7年度)
(令和 7年10月31日現在)

区 分	令 達 予 算 額	支 出 済 額	支 出 未 済 額	摘 要
	円	円	円	
02 食糧費	10,000	2,752	7,248	
11 役務費	729,000	115,115	613,885	
12 委託料	504,000	245,520	258,480	
13 使用料及び賃借料	2,283,000	971,680	1,311,320	
17 備品購入費	2,236,000	0	2,236,000	
18 負担金、補助及び交付金	3,441,000	1,507,424	1,933,576	
項 08 学校教育費	1,799,260	694,877	1,104,383	
目 02 義務教育費	1,715,000	610,617	1,104,383	
01 報酬	1,000,000	420,838	579,162	
03 非常勤職員報酬	1,000,000	420,838	579,162	
03 職員手当等	670,000	189,779	480,221	
01 その他の職員手当等	670,000	189,779	480,221	
04 共済費	5,000	0	5,000	
02 報酬、給料及び賃金に係る社会保険料	5,000	0	5,000	
08 旅費	40,000	0	40,000	
01 その他の旅費	40,000	0	40,000	
目 04 健康体育費	84,260	84,260	0	
11 役務費	84,260	84,260	0	
計	33,150,236	12,415,595	20,734,641	

□□□□

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

節名	会計	款	項	目	執行済額 (円)		
					令和5年度	令和6年度	左のうち、前年度からの繰越額分
(12) 委託料	一般	教育費	中学校費	中学校管理費	/	491,040	
計					0	491,040	0
(14) 工事 請負費					/		
計					0	0	0
(16) 公有財産 購入費					/		
計					0	0	0
(17) 備品 購入費	一般	教育費	中学校費	中学校管理費	/	1,429,890	
計					0	1,429,890	0
(18) 負担金、 補助及 び交付金	一般	教育費	中学校費	中学校管理費	/	3,071,718	
計					0	3,071,718	0
(21) 補償、補填 及び賠償 金					/		
計					0	0	0

□□□□

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

(令和7年10月31日現在)

節名	会計	款	項	目	執行済額 (円)	
						うち、前年度からの繰越額分
(12) 委託料	一般	教育費	中学校費	中学校管理費	245,520	0
					0	0
					0	0
					0	0
計					245,520	0
(14) 工事 請負費					0	0
					0	0
					0	0
					0	0
計					0	0
(16) 公有財産 購入費					0	0
					0	0
					0	0
					0	0
計					0	0
(17) 備品 購入費	一般	教育費	中学校費	中学校管理費	0	0
					0	0
					0	0
					0	0
計					0	0
(18) 負担金、 補助及 び交付金	一般	教育費	中学校費	中学校管理費	1,507,424	0
					0	0
					0	0
					0	0
計					1,507,424	0
(21) 補償、補填 及び賠償 金					0	0
					0	0
					0	0
					0	0
計					0	0

□□□□

委 託 料 に 関 す る 調

(令和6年度)

整理 番号	委託業務名	受 託 者	当 初 設計金額	契 約 金 額			契約 締結 方法	契 約 期 間	支 出 年月日	金 額	委託業務 の 内 容	摘 要
				当 初 額	変 更 増減額	計						
1	清掃業務	ALSOKファ シリ ティーズ 株式会社 浜松支社	264,000	264,000		264,000	随契	6. 4. 1 ～ 7. 3. 31	6. 5. 31	22,000	清掃、学 校内の美 化	随契1号 (少額)
									6. 7. 1	22,000		
									6. 7. 31	22,000		
									6. 8. 29	22,000		
									6. 9. 26	22,000		
									6. 10. 30	22,000		
									6. 11. 25	22,000		
									6. 12. 26	22,000		
									7. 1. 28	22,000		
									7. 2. 21	22,000		
									7. 3. 25	22,000		
									7. 4. 21	22,000		
									小計	264,000		
2	警備業務	総合警備 保障株式 会社静岡 支社	227,040	227,040		227,040	随契	6. 4. 1 ～ 7. 3. 31	6. 5. 28	18,920	異常監 視、警備	随契1号 (少額)
									6. 6. 21	18,920		
									6. 7. 22	18,920		
									6. 8. 22	18,920		
									6. 9. 25	18,920		
									6. 10. 24	18,920		
									6. 11. 26	18,920		
									6. 12. 24	18,920		
									7. 1. 24	18,920		
									7. 2. 21	18,920		
									7. 3. 27	18,920		
									7. 4. 21	18,920		
									小計	227,040		
合 計	2 件								491,040			

(令和7年度)
(令和7年10月31日現在)

整理 番号	委託業務名	受 託 者	当 初 設計金額	契 約 金 額			契約 締結 方法	契 約 期 間	支 出 年月日	金 額	委託業務 の 内 容	摘 要
				当 初 額	変 更 増減額	計						
1	清掃業務	ALSOKファ シリ ティーズ 株式会社 浜松支社	264,000	264,000		264,000	随契	7. 4. 1 ～ 8. 3. 31	7. 5. 30	22,000	清掃、学 校内の美 化	随契1号 (少額)
									7. 6. 30	22,000		
									7. 7. 31	22,000		
									7. 8. 29	22,000		
									7. 9. 30	22,000		
									7. 10. 31	22,000		
									小計	132,000		
2	警備業務	ALSOK株式 会社静岡 支社	227,040	227,040		227,040	随契	7. 4. 1 ～ 8. 3. 31	7. 5. 30	18,920	異常監 視、警備	随契1号 (少額)
									7. 6. 30	18,920		
									7. 7. 31	18,920		
									7. 8. 28	18,920		
									7. 9. 30	18,920		
									7. 10. 31	18,920		
小計	113,520											
合 計	2 件								245,520			

□□□□

負担金支出調

(令和6年度)

整理番号	負担金名	交付先	負担根拠	事業内容	負担金額	支出年月日
1	天平のまち施設管理費	磐田市長 (委任先：天平のまち管理組合業務代行 株式会社セイセイサーバー)	磐田市学習交流センターの施設等の使用及び運営に係る協定	共用施設の維持管理に係る経費	円	
					138,720	6. 5. 15
					138,720	6. 6. 14
					138,720	6. 7. 12
					139,324	6. 8. 16
					139,324	6. 9. 13
					139,324	6. 10. 15
					139,324	6. 11. 15
					139,324	6. 12. 13
					139,324	7. 1. 17
					139,324	7. 2. 14
139,324	7. 3. 14					
139,324	7. 4. 14					
2	天平のまち光熱水費	磐田市長 (委任先：天平のまち管理組合業務代行 株式会社セイセイサーバー)	磐田市学習交流センターの施設等の使用及び運営に係る協定	使用施設における光熱水費	115,454	6. 5. 22
					133,707	6. 6. 25
					119,741	6. 7. 25
					124,027	6. 8. 29
					94,593	6. 9. 25
					120,885	6. 10. 22
					119,821	6. 11. 25
					113,077	6. 12. 24
					117,385	7. 1. 23
					104,330	7. 2. 21
127,483	7. 3. 21					
111,139	7. 4. 21					
計		2件	/	/	3,071,718	

(令和7年度)

(令和7年10月31日現在)

整理番号	負担金名	交付先	負担根拠	事業内容	負担金額	支出年月日
1	天平のまち施設管理費	磐田市長 (委任先：天平のまち管理組合業務代行 株式会社セイセイサーバー)	磐田市学習交流センターの施設等の使用及び運営に係る協定	共用施設の維持管理に係る経費	円	
					139,324	7. 5. 16
					139,324	7. 6. 13
					139,324	7. 7. 11
					139,324	7. 8. 15
2	天平のまち光熱水費	磐田市長 (委任先：天平のまち管理組合業務代行 株式会社セイセイサーバー)	磐田市学習交流センターの施設等の使用及び運営に係る協定	使用施設における光熱水費	139,324	7. 9. 12
					139,324	7. 10. 15
					84,119	7. 5. 20
					125,459	7. 6. 23
					123,319	7. 7. 18
109,202	7. 8. 21					
106,392	8. 9. 18					
122,989	7. 10. 17					
計		2件	/	/	1,507,424	

□□□□

借地借家等調

(令和7年10月31日現在)

整理 番号	区分	種 別	所在地	地 目		数量又 は面積	借 料		契 約 期 間	所有者又 は契約者 氏名	用 途
				台帳	現況		単 価	年 額			
1	土地	学校敷地	三島市 文教町1丁目3番18号	学校 敷地	学校 敷地	21.61㎡		円 無償	R6.4.1 ～ R9.3.31	三島北 高等学校長	駐車場
2	土地	学校敷地	三島市 文教町2丁目32-60	学校 敷地	学校 敷地	90㎡		無償	R7.5.1 ～ R8.3.31	三島市立 北中学校長	駐車場
	計					111.61					
3	建物	事務所建	磐田市 中泉1-6-16	鉄骨 4階建		360㎡	負担割合 20.7% 施設管理 者の請求 による	R5.4.1 ～ R8.3.31	磐田市	学校	
						1,741.8㎡					
4	建物	事務所建	三島市 文教町1丁目3番93号	鉄骨 7階建		28.43㎡	無償	R5.4.1 ～ R8.3.31	三島長陵 高等学校長	学習室	
						8,361.58㎡					
5	建物	事務所建	三島市 文教町1丁目3番93号	鉄骨 7階建		67.14㎡	無償	R6.2.22 ～ R8.3.31	三島長陵 高等学校長	職員室	
						8,361.58㎡					
6	建物	事務所建	三島市 文教町1丁目3番93号	鉄骨 2階建		7.01㎡	無償	R6.6.17 ～ R8.3.31	三島長陵 高等学校長	防災 倉庫	
						2,733.03㎡					
	計					462.58					
						21,197.19㎡					

□□□□

主 要 備 品 調

所属 0000226116 県立高校・中学校 ふじのくに中学校

(令和7年10月31日現在)

整理 番号	区 分		品 名 ・ 規 格	利 用 状 況	購入年月	購入金額
	大・中	小				
1	02-02	その他の情報伝達機器	Smart Infill	授業用 毎日(年間194日)	5.4	2,530,000 ^円
2	02-02	その他の情報伝達機器	オーディオ会議デバイス Nureva HDL300-W	授業用 毎日(年間194日)	5.4	682,000
3	02-02	その他の情報伝達機器	オーディオ会議デバイス Nureva HDL300-W	授業用 毎日(年間194日)	5.4	682,000
4	01-99	その他の庁用器具	その他の庁用器具 仕様書のとおり	式典用校旗 (年間1~3日)	5.2	480,700
5	01-04	その他の収納保管庫	収納保管庫	管理用 毎日	6.6	347,270
6	04-99	その他の医療衛生機器	自動体外式除細動器 AED-3100	非常時用AED	30.7	345,600
7	02-02	その他の情報伝達機器	プロジェクタ EPSON EB-735FI	授業用 毎日(年間194日)	5.4	308,000
8	02-02	その他の情報伝達機器	プロジェクタ EPSON EB-735FI	授業用 毎日(年間194日)	5.4	308,000
9	02-02	その他の情報伝達機器	プロジェクタ EPSON EB-735FI	授業用 毎日(年間194日)	5.4	308,000
10	02-02	その他の情報伝達機器	プロジェクタ EPSON EB-735FI	授業用 毎日(年間194日)	5.4	308,000
11	02-02	その他の情報伝達機器	プロジェクタ EPSON EB-735FI	授業用 毎日(年間194日)	5.4	308,000
12	02-02	その他の情報伝達機器	プロジェクタ EPSON EB-735FI	授業用 毎日(年間194日)	5.4	308,000
13	01-04	金庫	金庫 120EKR3	管理用 毎日	5.3	274,670
14	04-99	その他の医療衛生機器	その他の医療衛生機器 ガイドライン2020	非常時用AED	4.11	236,500
15	10-99	その他の教育用器具	その他の教育用器具 収納時 33*44*97cm	健康診断用 年間(1~2日)	5.3	222,200
16	02-02	その他の情報伝達機器	スクリーンボードスタンド 内田洋行 IS-6V	授業用 毎日(年間194日)	5.4	212,300
17	02-02	その他の情報伝達機器	スクリーンボードスタンド 内田洋行 IS-6V	授業用 毎日(年間194日)	5.4	212,300
18	01-04	金庫	金庫 100EKR3	管理用 毎日	5.3	209,000
19	02-02	その他の情報伝達機器	ディスプレイ IO DATA LCD-M4K551EQ	授業用 毎日(年間194日)	5.4	209,000
20	02-02	その他の情報伝達機器	ディスプレイ IO DATA LCD-M4K652XD	授業用 毎日(年間194日)	5.4	209,000

□□□□

職 員 調

(令和7年10月31日現在)

ふじのくに中学校（磐田本校）

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘要
1	校長	鈴木 仁之		□□□□	□□□□	□□□□
2	教諭	桑原 めぐみ	数学	□□□□	□□□□	□□□□
3	教諭	青木 正文	社会	□□□□	□□□□	□□□□
4	教諭	前島 由佳	数学	□□□□	□□□□	□□□□
5	教諭	竹村 知樹	国語	□□□□	□□□□	□□□□
6	養護教諭	大津 多美子		□□□□	□□□□	□□□□
7	主任	相羽 政孝		□□□□	□□□□	□□□□
平均年数					□□□□	

ふじのくに中学校（三島教室）

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘要
1	教頭	磯谷 容美		□□□□	□□□□	□□□□
2	教諭	荒井 賢二	国語	□□□□	□□□□	□□□□
3	教諭	野口 厚	理科	□□□□	□□□□	□□□□
4	教諭	山下 哲司	国語	□□□□	□□□□	□□□□
5	教諭	伊藤 剛	英語	□□□□	□□□□	□□□□
6	教諭	細谷 昌充	数学	□□□□	□□□□	□□□□
7	教諭	佐野 慎吾	英語	□□□□	□□□□	□□□□
8	主任	石川 彩		□□□□	□□□□	□□□□
平均年数					□□□□	

臨時・会計年度任用職員(磐田本校)

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘要
1	教諭(臨)	山田 実余治	国語	□□□□	□□□□	□□□□
2	教諭(臨)	藤田 久美子	社会	□□□□	□□□□	□□□□
3	教諭(臨)	大江 和泉	理科	□□□□	□□□□	□□□□
4	非常勤講師	吉田 美保	音楽	□□□□	□□□□	□□□□
5	非常勤講師	井浪 務	技術	□□□□	□□□□	□□□□
6	非常勤講師	林 美佐子	家庭	□□□□	□□□□	□□□□
7	非常勤講師	今水 志保	美術	□□□□	□□□□	□□□□
8	非常勤講師	黒澤 ひろみ	英語	□□□□	□□□□	□□□□
9	非常勤講師	松本 寿夫	保健体育	□□□□	□□□□	□□□□
10	スクール・サポート・スタッフ	鈴木 千鶴子		□□□□	□□□□	□□□□
11	学校医	北原 大文	内科	□□□□	□□□□	□□□□
12	学校医	青島 真一	眼科	□□□□	□□□□	□□□□
13	学校医	梅原 潤一	耳鼻科	□□□□	□□□□	□□□□
14	学校歯科医	鈴木 義仁		□□□□	□□□□	□□□□
15	学校薬剤師	袖岡 利市		□□□□	□□□□	□□□□
16	健康管理医	牧野 章		□□□□	□□□□	□□□□
平均年数					□□□□	

臨時・会計年度任用職員(三島教室)

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘要
1	教諭(臨)	西島 敏博	数学	□□□□	□□□□	□□□□
2	教諭(臨)	山田 元広	社会	□□□□	□□□□	□□□□
3	養護教諭(臨)	清水 裕子		□□□□	□□□□	□□□□
4	非常勤講師	西田 裕一	技術	□□□□	□□□□	□□□□
5	非常勤講師	丹羽 菜々	美術	□□□□	□□□□	□□□□
6	非常勤講師	渡邊 早葵	音楽	□□□□	□□□□	□□□□

7	非常勤講師	小松 信雅	保健体育	□□□□	□□□□	□□□□
8	非常勤講師	浅川 和恵	家庭	□□□□	□□□□	□□□□
9	学校医・ 健康管理医	山口 晶久	内科	□□□□	□□□□	□□□□
10	学校医	永井 重夫	眼科	□□□□	□□□□	□□□□
11	学校医	内藤 陸奥男	耳鼻科	□□□□	□□□□	□□□□
12	学校歯科医	植松 賢治郎		□□□□	□□□□	□□□□
13	学校薬剤師	岩田 要一		□□□□	□□□□	□□□□
平均年数					□□□□	

□□□□

【磐田本校】

職員の年齢調

(令和7年4月1日現在)

年 齢	人 員	摘 要
20歳未満	0人	
20歳以上30歳未満	0人	
30歳以上40歳未満	2人	
40歳以上50歳未満	1人	
50歳以上56歳未満	3人	
56歳以上61歳未満	1人	
61歳以上	0人	
計	7人	平均年齢 46.2歳

【三島教室】

職員の年齢調

(令和7年4月1日現在)

年 齢	人 員	摘 要
20歳未満	0人	
20歳以上30歳未満	0人	
30歳以上40歳未満	1人	
40歳以上50歳未満	1人	
50歳以上56歳未満	0人	
56歳以上61歳未満	3人	
61歳以上	3人	再任用職員3名
計	8人	平均年齢 55.5歳

□□□□

健康管理（磐田本校）

1 令和6年度受診状況

区 分	内 容
受 診 状 況	受診者数 9人
	職員数 9人
受 診 率	100%
県平均受診率	100%

(1) 未受診の理由

2 令和7年度在籍者の健康管理区分結果

健 康 管 理 区 分			人 数
A	休養のため必要な期間、勤務を休止させる。		人
B 1	勤務時間を短縮し、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張をさける。また、必要に応じ勤務場所、勤務内容の変更を行う。	要 治 療	人
B 2		要経過観察	人
C 1	勤務をほぼ平常に行っておりが症状によっては、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張等勤務に制限を加える必要がある。	要 治 療	(2) 人
C 2		要経過観察	人
D 1	平常の勤務でよい。	要 治 療	(3) 人
D 2		要経過観察	(2) 人
D 3		医 療 不 要	(3) 人
区 分 者 計			(10) 人
未区分者数			人
合 計			(10) 人

(1) 管理区分A～C 2 該当者
に対する措置状況
C1：平常勤務

(2) 未区分の理由
ア 産休・育休 人
イ 新規採用 人
ウ 自己都合による未受診 人
エ その他 人
()

□□□□

健康管理（三島教室）

1 令和6年度受診状況

区 分	内 容
受 診 状 況	受診者数 8 人 職員数 8 人
受 診 率	100%
県平均受診率	100%

(1) 未受診の理由

2 令和7年度在籍者の健康管理区分結果

健 康 管 理 区 分			人 数
A	休養のため必要な期間、勤務を休止させる。		人
B 1	勤務時間を短縮し、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張をさける。また、必要に応じ勤務場所、勤務内容の変更を行う。	要 治 療	人
B 2		要経過観察	人
C 1	勤務をほぼ平常に行っても症状によっては、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張等勤務に制限を加える必要がある。	要 治 療	人
C 2		要経過観察	人
D 1	平常の勤務でよい。	要 治 療	(5) 人
D 2		要経過観察	(1) 人
D 3		医 療 不 要	(3) 人
区 分 者 計			(9) 人
未区分者数			(2) 人
合 計			(11) 人

(1) 管理区分A～C 2 該当者
に対する措置状況

(2) 未区分の理由
 ア 産休・育休 人
 イ 新規採用 2人
 ウ 自己都合による未受診 人
 エ その他 () 人